第十回 是川縄文の里俳句大会 入賞作品

【小学生の部】

小
泉
靜
子
•
選

				и.					T .	·	r.l.		鈴木志美恵					и.					T .		tel.	 -	佐藤幸子					и.					T .		r.t.	 -	<i>إ</i>
				佳					秀	人	地	天	志美					佳					秀	人	地	天	幸っ					佳					秀	人	地	天	小泉靜マ
				作					逸	位	位	位	恵					作					逸	位	位	位	•					作					逸	位	位	位	•
いのるんが星におねがいしているよ	秋になりじょうもんの里色がわり	あきの空やぎが見つめるじょうもんかん	これかわっこみんななかよくとんぼおう	いのるんのとなりにすわる雪だるま	土ぐうにも食べさせたくてすいか切る	つちをこねじょうもんじんになれたなつ	豊作は合掌土偶がいるおかげ	赤い土偶カエデの葉っぱと同じ色	これかわのみずはきれいだほたるとぶ	どぐうさん夏の空見てなに思う	じょうもんのおかつくし顔出し里光る	天の川土に押しつけ土器作る	選	いねかりを合掌土偶見守ってる	かたならべふゆをしのぐよどぐうたち	夏草の地中に眠りし土器の山	土ぐうくんせみといっしょに合唱だ	これかわのみずはきれいだほたるとぶ	豊作は合掌土偶がいるおかげ	夏の山ねむっているかも土ぐうたち	赤とんぼ夕焼け背負いより紅く	すずしいよたてあなしきのおうちだよ	おもいでは火おこしをした夏休み	月の上合掌土偶が踊ってる	つちをこねじょうもんじんになれたなつ	縄文土器一万年の夏をこえ	選	土器にふれ土の息吹と夏の風	あかとんぼいのるんにちょんとまったよ	雪の中智恵しぼり出す縄文人	土偶が日焼けをしているかわいそう	ひまわりが暑くて前におじぎする	あきの空やぎが見つめるじょうもんかん	とちクルミ今も昔も食べている	縄文土器一万年の夏をこえ	暑い夏土偶はいつも同じ顔	縄文人夏にすずむは川の音	いのるんのとなりにすわる雪だるま	つちをこねじょうもんじんになれたなつ	雪景色土偶がかぶる白ぼうし	遊
是川小	是川小	是川小	是川小	青潮小	是川小	是川小	青潮小	青潮小	吹上小	吹上小	是川小	青潮小		是川小	青潮小	青潮小	大久喜小	吹上小	青潮小	青潮小	青潮小	吹上小	福地小	是川小	是川小	吹上小		是川小	是川小	青潮小	上市川小	西園小	是川小	青潮小	吹上小	吹上小	吹上小	青潮小	是川小	吹上小	
五 年	四 年	二年	一 年	六年	二年	一 年	六年	五 年	一 年	三年	三 年	六年		四 年	六年	六年	五年	一 年	六年	六年	五 年	三年	六年	五年	一 年	六年		三年	一 年	六年	五年	五 年	二年	六年	六年	四 年	四 年	六年	年	五 年	
林崎耀	小屋敷恭介	内澤奏翔	佐々木みつは	佐藤梨乃愛	もりや大き	小屋敷和奈	榎本大洋	二本柳玄心	しょうじけいいちろう	告田宗一郎	きむらみずき	今紗香		細越凪紗	国本大駕	小樋渉真	種市悠希	しょうじけいいちろう	榎本大洋	西村優	松森雫	石橋一夏	大坊大晴	中村宥陽	小屋敷和奈	五十嵐愛真		下沢香桜	佐々木鞠衣	坂下紗耶	川村夏姫	高畑友美	内澤奏翔	森翔太朗	五十嵐愛真	杉山結哉	東テアラ	佐藤梨乃愛	小屋敷和奈	青苅悠悟	